

当町は、大川（おおかわ）、北川（ほっかわ）、熱川（あたがわ）、片瀬（かたせ）、白田（しらた）、稲取（いなとり）の6つの温泉郷を擁する伊豆屈指の湯どころです。

海・山に加え、広大な高原もあり、恵まれた自然が生み出す絶景や美味しい食材も自慢です。

温泉

湯量が豊富な6つの温泉場にはそれぞれ特徴があり、大小合わせて約50軒の宿泊施設が海岸線を中心に点在しております。

もくもくと櫓から立ち上る湯けむりには温泉場の情緒を感じ、また、波打ち際にある3つの露天風呂は多くの雑誌やCMに取り上げられるほど人気で、水平線から顔を出す朝日を湯船につかりながら見るのはまた格別です。



稲取細野高原

国道135号線から車で10分ほど山手に入ると目の前に広大な高原が現れます。新たな観光スポットとして人気を集める「稲取細野高原」です。面積は約125ヘクタール、東京ドーム26個分で、全国的にススキで有名な箱根千石原の7倍の広さを誇ります。

春は山菜狩り、秋は一面のススキ野原、そして一番のおすすめは標高821mの三筋山から伊豆七島を望むパノラマ絶景です。



雛のつるし飾り

稲取は「つるし飾り発祥の地」とされ、古く江戸時代後期から雛祭りの際につるし飾りを飾る風習がありました。お雛様を買えない家が雛段の両脇に一對のつるし飾りを飾ったところから始まったとされています。人形ひとつひとつに意味があり、子を想う親の愛情が詰まっています。

毎年、1月20日から3月31日まで稲取温泉にて「雛のつるし飾りまつり」を開催しております。



海の幸・山の幸

海の幸といえば何といっても「稲取キンメ」。エサが豊富な近海の漁場で獲れる金目鯛は、肉厚で脂がのり、全国の食通を唸らせます。煮付けも刺身も最高ですが、おすすめはしゃぶしゃぶです。

山の幸ではワサビやミカン、イチゴも豊富で、地場のものを利用した加工品も作られています。特に「みかんワイン」は、結婚式やホテル・旅館の食前酒などにも使用されています。



レジャー・スポーツ

代表的なレジャー施設といえば、世界でも珍しいホワイトタイガーが見られる「伊豆アニマルキングダム」と世界一のワニのコレクションとして有名な「熱川バナナワニ園」です。

スポーツはダイビング、ゴルフ、パラグライダーなど海・山・空のスポーツが年間を通じて楽しめます。



江戸城築城石

今から400年以上も前の江戸時代初め、江戸城修復のため、伊豆の山々から石が切り出されて江戸へと運ばれました。しかし、何らかの理由で運ばれずに残された石や、船で運ぶ途中で海に落ちてしまった石が町内にはいくつも残されています。

伊豆稲取駅前の「江戸城築城石ふるさと広場」にある築城石に触れながら、400年前にタイムスリップしてみたいかでしょうか。また、毎年秋には熱川海岸通りで「石曳き道灌まつり」を開催しており、実際に「石曳き」を体験することができます。

